

## マコモの特性と栽培

### 新たな耕作放棄地対策作物として有望

#### 研究開発の背景

- ◇「マコモ」は水稻と同様に水田に植え付け、比較的粗放な管理でも栽培できることから、遊休農地の増加抑制にむけた品目として注目されている。
- ◇「マコモ」については栽培技術が十分に知られていないため、2011年より「マコモ」の栽培技術開発に取り組んだ。

#### 研究成果の内容

### 手間をかけずに水田を管理できる省力的作物

#### ○マコモとは？

イネ科マコモ属の多年生草で、株元に黒穂病菌が寄生し、穂になる部分が肥大して「マコモタケ」になる。

#### ○優良系統の選抜

「千葉早生」で生育、収量、品質が安定して優れる。

#### ○雑草管理

使用できる除草剤が無いので、紙マルチ被覆と刈り払いを組み合わせると効果的である。



油と相性が良く、中華料理に用いられ、炒め物や天ぷらなどで人気がある。

月・旬	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月														
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下												
生育ステージ	萌芽期						移穂期			活躍期			分けつ期			マコモタケ肥大期																							
主な作業	土づくり			基肥施用→ 耕起→代かき			苗取り			移植			紙マルチ被覆			除草			追肥①			除草			追肥②			除草			追肥③			収穫			地上部刈取り		
水管理	入水						浅水						深水						深水			走水																	

#### 産地の状況

#### ○作付け地域が拡大中

耕作放棄地対策として岩出市、紀の川市、海南市、紀美野町、田辺市本宮町などで栽培されている。

#### 期待される効果

☆耕作放棄地の解消と新たな特産品としての導入。